

県立障害者支援施設の方向性の検討について

県立障害者支援施設（以下「県立施設」という。）の方向性について、当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会（以下「将来展望検討委員会」という。）の提言等を踏まえて、次のとおり役割、現状や課題を整理したので、検討状況を報告する。

(1) 将来展望検討委員会の提言等

ア 令和4年3月の提言

- (ア) 県立施設の役割
県立施設は率先して地域生活移行に取り組む。
- (イ) 県立施設の規模等
規模を縮小の上、民間移譲も視野に入れた検討を行う。
- (ウ) 県の役割の方向性
福祉に関する先進的な研究や人材育成は、県の役割である。

イ 令和4年8月の将来展望検討委員会での主な意見

当事者目線の支援ができるようなハードになっていない、規模は定員40名程度が適当である、といった意見が出された。

(2) 県立施設の役割

ア 現在の役割

- (ア) 民間施設では対応が難しい障がい者の受入れ
- (イ) 地域の拠点施設として民間施設や市町村等への支援
- (ウ) 民間施設等との連携・協力の推進
- (エ) 県の障害福祉施策への反映（県立直営施設）

イ 今後の役割の方向性

将来展望検討委員会の提言にあるような、地域生活移行、通過型施設、福祉に関する先進的な研究、人材育成を県立施設の役割とする方向で検討を進める。

一方、一部は民間移譲も視野に入れ、適正な県立施設の配置についても検討していきたい。

(3) 県立施設の現状と課題

ア 中井やまゆり園（県立直営施設）

(ア) 現状

- ・ 強度行動障害対策の県の中核施設として、民間で特に対応が困難な障がい者を受入れ
- ・ 知的障がい者対象の唯一の県立直営施設

(イ) 課題

- ・ 職員の支援技術の不足やガバナンスの課題が指摘されている。
- ・ 従来型の大規模施設であるため、建物の構造面から当事者目線の支援が困難になっている。
- ・ 交通の便が悪く、住宅街から離れているため、地域との交流に課題がある。

イ 愛名やまゆり園（指定管理施設）

(ア) 現状

- ・ 民間施設では対応が困難な重度重複等の知的障がい者を受入れ

(イ) 課題

- ・ 施設の老朽化対策等の検討が必要になっている。
- ・ 従来型の大規模施設であるため、建物の構造面から当事者目線の支援が困難になっている。

ウ 津久井やまゆり園（指定管理施設）

(ア) 現状

- ・ 民間施設では対応が困難な重度重複等の知的障がい者を受入れ
- ・ 令和3年8月に小規模ユニットケア施設に再整備し、当事者目線の支援を実践
- ・ 令和5年4月から新たな指定期間を開始予定

(イ) 課題

- ・ 令和5年4月からの指定管理の状況を確認する必要がある。

エ 芹が谷やまゆり園（指定管理施設）

(ア) 現状

- ・ 民間施設では対応が困難な重度重複等の知的障がい者を受入れ
- ・ 令和3年12月に小規模ユニットケア施設に再整備し、当事者目線の支援を実践
- ・ 令和5年4月から新たな指定管理者による運営を開始予定

(イ) 課題

- ・ 令和5年4月からの指定管理の状況を確認する必要がある。

オ 三浦しらとり園（指定管理施設）

(ア) 現状

- ・ 民間施設では対応が困難な重度重複等の知的障がい児者を受入れ
- ・ 知的障がい児者の複合施設で、横須賀三浦地域の福祉拠点
- ・ 令和5年4月から新たな指定期間を開始予定

(イ) 課題

- ・ 令和5年4月からの指定管理の状況を確認する必要がある。
- ・ 施設の老朽化対策等の検討が必要になっている。
- ・ 従来型の大規模施設であるため、建物の構造面から当事者目線の支援が困難になっている。

カ 厚木精華園（指定管理施設）

(ア) 現状

- ・ 高齢の知的障がい者支援のモデル施設

(イ) 課題

- ・ 60歳以上の入所者が70%を超え、高齢化が進行しているため、地域生活移行が難しい。
- ・ 従来型の大規模施設であるため、建物の構造面から当事者目線の支援が困難になっている。

キ さがみ緑風園（県立直営施設）

(ア) 現状

- ・ 医療的ケアが必要な最重度の身体障がい者を受入れ
- ・ 病院や介護施設との役割分担を進める中、入所者の高齢化が解消の傾向

(イ) 課題

- ・ さがみ緑風園でないと受け入れられないという方が減ってきており、入所者が減少している。
- ・ 指定管理者の選定を進めていたが、応募団体が取り下げたため、令和5年度は直営を継続し、それ以降の方向性を検討する必要がある。

(4) 今後の検討

障がい当事者からご意見をいただくとともに、県議会や関係団体と議論を重ねながら、今後の方向性について検討を進める。

